

広報で見る 平成21年の 主な出来事

ふるさと納税第1号
(1月8日)

埼玉西武ライオンズの帆足和幸選手(花立出身)が、「生まれ育った場所に少しでも貢献できるように」とふるさと納税を行いました。



▲ふるさと納税を行う帆足選手

小郡市消防団特別表彰
「まとい」受章(2月13日)

小郡市消防団が東京の日本消防会館において第61回日本消防協会定例表彰式で特別表彰「まとい」を受章しました。

特別表彰「まとい」は、消防庁長官表彰、日本消防協会長表彰旗の受章に加えて、全国消防操法大会への出場経験、さらに設立以来の活動が特に優秀という幾多の条件を備えた消防団だけに授与されるもので、全国の消防団にとって

最高の荣誉とされています。



▲まとい受章を報告する川口大小郡市消防団団長(写真中央)

「児童劇団つばさ」「小郡七
タバンブーオーケストラ」
が青少年アンビシヤス運
動で表彰
(3月1日)



定期公演で劇を披露した「児童劇団つばさ」



くすのきミュージックフェスタで演奏を披露した「小郡七タバンブーオーケストラ」

小郡地域職業相談室開館
(3月30日)

地域の就職あっせんの充実を図るためハローワーク久留米の付属機関として市体育館内に開設されました。

相談室では、端末を利用した求人検索と相談員による就職相談・職業相談を行っています。



福童浄化センター通水式
(3月30日)

小郡市、朝倉市、大刀洗町の下水道の終末処理場で、県の筑後川中岸右流域下水道事業の核となる福童浄化センターで通水式が行われました。



西鉄小郡駅にエレベーター
設置
(3月31日)

駅のバリアフリー化を図るため、国と小郡市からの補助を受け、エレベーターが北出口「1階(地上階)」「2階(改札口前)」と上下線のプラットホームの計3箇所設置されました。同時に耐震化工事も行っています。



▲改札口前に設置されたエレベーター

小郡市消防団第2分団2
部制移行
(4月1日)

第2分団は、三国中校区を管轄していますが、美鈴が丘などでの人口増に対応するため、新たな拠点を、美鈴が丘公民館横に設置しました。



▲新設された格納庫とポンプ車

1月

消防出初式(4日)
平成20年度成人式(11日)
第54回成人祭祝賀駅伝大会(11日)
火渡り(17日)

2月

第17回小郡音楽祭「ハーモニー in 小郡」(8日)

3月

九州国立博物館「あじつば」出前講座(14日)
小郡ロードレース大会(22日)

4月

久留米広域消防本部スタート(1日)
新酒まつり(4・5日)
クロスロード文化研究会基山鳥栖 長崎街道歴史散歩(18日)
將軍藤まつり(18日) 5月6日
第16回ジュニアスポーツフェスティバル(26日)
花立山春の茶会(29日)

5月

味坂ポピーまつり(9・10日)
平安市政2期目がスタート(15日)

6月

総合型地域スポーツクラブ小郡わいわいクラブ創設(6日)
第1回どろりんぴっく in みい(28日)

7月

小郡市・久留米市・鳥栖市・基山町の図書館広域利用開始(1日)
同和問題市民講演会(11日)

新年のごあいさつ

小郡市長 平安正知



新年明けましておめでとうございます。
平成22年の輝かしい新春を迎え、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお慶び申し上げます。また、平素より、市政に対する温かいご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

昭和47年に誕生した小郡市は、今年で市制38年を迎えます。当時3万2千人だった人口も、市外からの転入者も含め、今では5万9千人と約2倍となり、緑豊かな自然環境と交通の利便性に恵まれた住宅都市として発展し続けております。これも市民の皆様をはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の絶大なるご支援・ご協力の賜とお礼を申し上げる次第です。

さて昨年は、大原合戦650周年、野田宇太郎生誕100年という記念の年でもありました。市内でさまざまなイベントが開催され、また平成19年・20年に小郡音楽祭にて上演された市民ミュージカル「ハードル」は、多くの方々の反響を呼び博多座での公演が実現しました。こうしたイベントは、市民の皆様が主役となったことにより成功裡に終わることができたものであり、関係各位の皆様がこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

今年は、太宰府市から小郡市三沢に移築された九州歴史資料館のオープンが秋に予定されています。また、本市を含む久留米広域市町村圏4市2町で、久留米市を中心市とした定住自立圏構想の取り組みが進められています。4市2町が連携・共同し、産業振興や医療、地域公共交通などを強化して、市民の皆様が生き生きと安心して暮らせるまちづくりを目指して参ります。

これまで本市では、「人と自然が調和する生活緑園都市・おごおり」を市の将来像として、「経営感覚に立脚した市政運営」、「事業の選択と集中」、「市民との協働によるまちづくり」の3つの基本理念に基づき、市民の福祉向上のため、総合的かつ計画的なまちづくりに努めて参りました。

本年は、第5次総合振興計画(マスタープラン:平成23年度から10年間の長期計画)についても、市民参画を図りながら策定に向けて本格的に取り組んで参ります。

これからも小郡市に住む人々がこの「ふるさと・おごおり」に自信と誇りを持ち、住んでよかったと思えるような、夢と希望に満ちたまちづくりを実現していきたいと思っております。

どうか、市民の皆様をはじめ、市議会、関係機関・団体などの多くの方々の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、今年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

以前のバスに比べて、座席の数が増えて、前向きになったほか、車内前方に液晶画面を設け、行き先案内や市の情報などをお知らせすることができ、より便利になりました。



▲ブルー、イエロー、オレンジの3台のバスで市内を運行しています。

「プレミアム商品券」將軍藤小判」発行(4月30日)
小郡市商工会の事業として、10% (1,000円) 分お得にお買い物ができる商品券が発売。1万セット用意されましたが、完売しました。



「おごおり女性ホットライン」開設 (7月1日)
暴力などに悩む女性を対象とした電話相談を開設しました。

相談電話番号
092・513・7337

▼相談日 毎週月・金曜日/午前10時～午後5時

祝日・12月29日～1月3日は除きます。

筑紫野・小郡・鳥栖三国境界パトロール隊結成(7月10日)

筑紫野・小郡・鳥栖三国境界パトロール隊出発式が行われ、各市の警察署ならびに市職員のほか、32のボランティア団体から約600人が参加。境界を越えての防犯活動、情報共有化を行います。

部分日食観測 (7月22日)



▲出発式後には、各ボランティア団体が保有する青パトと共にパトロールを行いました。

日本の陸地で46年ぶりに観測された皆既日食では、小郡でも90%以上が欠けた部分日食が観測されました。

大原合戦650周年 (8月6日)

大原合戦650周年を記念し、市民歴史講座、バスツアー、灯明まつり(8月6日)などのイベントのほか、大原合戦を題材とした博多祇園山笠の展示や市内の小中



▲灯明まつりで灯された平和の火

野田宇太郎生誕100年 (10月25日)

今年には野田宇太郎の生誕100年を記念し、生誕祭では特別賞「野田宇太郎賞」が設けられました。また、谷川俊太郎さんによる詩の朗読、前夜祭としてえびすさんまつりが行われました。

学生に大原合戦漫画絵本が贈呈されるなど、様々なイベントが行われました。

- 8月 夢HANAABI2009(2日)
第32回小郡市民まつり(29日)
- 9月 第8回スポレク大会(12・13日)
- 10月 第15回市民ふれあい運動会(11日)
第6回あすてらすフェスタ(25日)
- 11月 花立山秋の収穫祭(3日)
移動知事室(5日)
第20回小郡市民文化祭(7、8、14、15日)
第8回おごおり物産展(8日)
- 12月 人権週間記念講演会(7日)
「ハードル」博多座公演(12・13日)
家読記念講演会(13日)
大原合戦屏風寄贈(21日)